

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 245

■ 2024 年度車両分解調査活動

BYD ATTO 3 及び BMW CE 04 車両展示説明会（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様が次世代自動車に搭載されている部品の試作製作ができるように、車両分解調査活動などを通して次世代自動車技術に関する情報提供を実施しています。

今年度は、会員企業の皆様に、次世代自動車部品の加工法や軽量化、振動、騒音、熱管理等のニーズ変化を捉え、次世代自動車に対応するための調査・研究の一環としてお役立ていただくため、中国製の最新EVの「BYD ATTO 3」と欧州製の最新二輪EVの「BMW CE 04」の分解調査を実施します。

今回は、会員企業の皆様に、今後、分解調査を実施する車両を理解していただくため、購入した車両を展示して実車に直接手を触れていただくとともに、「BYD ATTO 3」と「BMW CE 04」に関する基本情報を動画とパネルでご覧いただく「車両展示説明会」を開催しました。

- 日 時 : 令和6年6月25日（火）10時～17時
- 場 所 : アクトシティ浜松 展示イベントホール
- 参加者 : 47社／96名

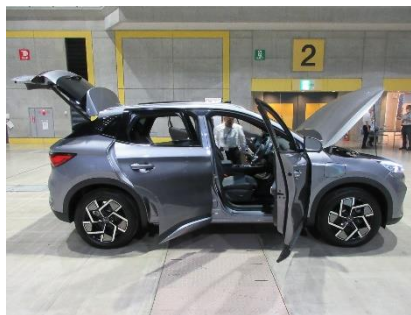
<車両2台展示・紹介映像・パネル展示>



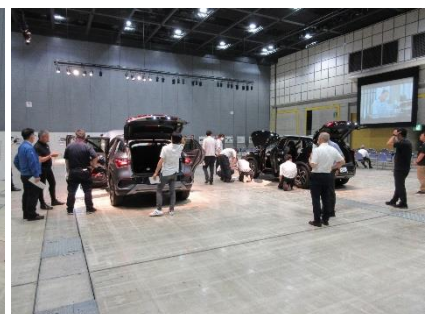
<見学手順説明>



<展示車両>



<BYD ATTO 3 見学状況>



<BMW CE 04 見学状況>



【参加者の声】

- ・実車に乗り込むことができ、BYD 様から EV に関してのお話を聞く機会をいただきました。
- ・実車に乗ることができ、写真撮影も可能で細部まで見学できた。
- ・分解展示では見られない各部品、モジュールの配置関係等がリアルに分かる点が大変参考になった。
- ・座り心地など確認したが、良く作り込まれている印象だった。
- ・実際に乗車することで、バッテリーの薄さ、モータユニットが小さいことにより、車内の広さにつながっていることに気付いた。
- ・部品レベルのコストセーブの考え方(仕様、材料)が理解できた。
- ・サーマルマネジメント部品に関して、部品ごとの冷却方法(冷媒や冷却水など)を学ぶことができた。
- ・実物を見学することで、サイズ感などが明確に分かり、既存のガソリン車との違いを肌で感じられた。
- ・各種コンポーネントのパッケージングが確認できて、サイズ感に加えて部材の質感などを肌で感じる事ができた。
- ・電動化という動力の違いだけでなく、それに併せた装備の変更なども見る事ができ、今までの内燃機関の車とは違う印象だった。
- ・モータや VCU をコンパクトにまとめた駆動システムが画期的に感じた。
- ・BMW CE 04 は、生産に手間をかけて作り込んであるように感じた。
- ・デザイン、機能などは国産の BEV よりも優れている印象を受けた。価格も安く魅力あるものに感じた。
- ・BYD ATT03 については、想像以上にしっかりと作られており、完成度の高さを感じた。
- ・テストコースで乗ってみたいと思った。エンジンにこだわりのない方には十分な車であることがわかった。
- ・ヘッドランプのデザイン、内装のデザインなどが目新しかった。
- ・ドアノブとスピーカーが一体となっていたり、電動化ならではの使用が検討されていると感じた。カードキーや大型タッチパネル等も一般化しつつ、技術が盛り込まれている。
- ・快適性を損なうことなく、デザインと機能を踏まえると、販売価格はとても安価に感じられた。
- ・BYD 8 in 1 の e-axle 以外にアルミ部分が見られず、鉄・樹脂がメインに感じられた。
- ・部品の点数がかなり少なく驚いた。内装が非常に良く作られていた。
- ・サンルーフが大きく、洗練されたデザインだった。
- ・BYD はボンネットに空間がかなりあり、まだ技術拡張性が高いと感じた。BMW は機能的にパッケージされており、効率化を詰めた車体と感じた。
- ・レポート資料がとても勉強になった。